家庭数配布

克明の子

学校通信
令和４年(2022 年) 2 月 14 日
発行)　校長　江尻　暁子

新型コロナウイルスの感染状況の厳しさを伝えるニュースが続いていますが、本校でもＰＣＲ検査結果の連絡が続いた日がありました。これまで、感染したり、濃厚接触者になったりして自宅待機となり、しんどい思いをされている方もおられます。ウイルスのせいでしんどい思いをしたけれど、学校や地域の人はあたたかいから、うわさや風評被害などは心配ない…と思える学校・地域でありたいと願います。

学校では、マスク・手洗い・間をあける・換気などの感染防止対策について、徹底しています。ご家庭でも、お子様の毎朝の検温・健康チェックシートの記入、ご家族の健康観察を徹底していただき、かぜ症状や発熱がある場合は、登校を控えていただきますようお願いいたします。

２月４日に予定していた公開授業発表会・予備日の授業参観、PTA 主催の学年親睦会につきましても中止となり、本当に残念でなりません。かがやき学習の取り組みならびに、全体会の講演の配信については、また後日、お手紙でお知らせします。

なお、２月１６日（水）に予定していた地区児童会は３月９日に延期します。

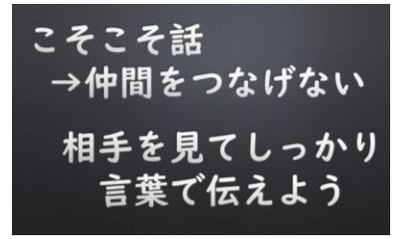
仲間とつながるつどい　～なかまとつながるために　自分たちができること～

計画委員会の５・６年生が全校に呼びかけて、仲間とつながるにはどうしたら良いか考えてくれました。まず、仲間とつながるとはどういうことかを計画委員会の人たちは考えました。

協力しあえたとき、共感してくれたとき、同じ経験を一緒にしたとき、みんなが楽しいと思ったとき、つながっているなあと感じます。

体育館に集まることができないので、計画委員の人たちから動画で伝えてくれました。一つ目は、友達に静かにしてほしいと伝えるとき、「うるさい」だけ言っても伝わらない。伝わる言い方を考えて言うと伝わりやすいということでした。相手が責められたと感じて腹を立ててしまっては、伝えたいことが伝わらないので、言い方の工夫はお互いのために良い効果があります。

二つ目は、こそこそ話はやめてほしいということでした。何を話しているかわからないから、悪口を言っているのかもしれないと心配になって、いやな気持ちになり傷つきます。相手を見てしっかり話をしようという呼びかけでした。



お互いに、自分の気持ちや考えを伝えようとすることと、相手の気持ちや考えを分かろうと努力すること、どちらも大切にしていきたいですね。相手が真剣に話していることは、真剣に聞いてほしいなぁと思います。子どもどうし、大人どうし、そして、子どもと大人の間も、お互いを大切に思っていることが伝わる言い方、聞き方を考えていきたいと思います。

克明小学校の目標は「みんなでぽかぽか　だれもが安心できる学校＆まちづくり」です。話すことや聴くことを大切にして、ぽかぽかな学校や地域をつくる仲間を広げていきましょう。